

2016 年 4 月 28 日
InterRisk Asia Thailand

ミャンマーで雹（ひょう）・強風・洪水による被害が発生

状況

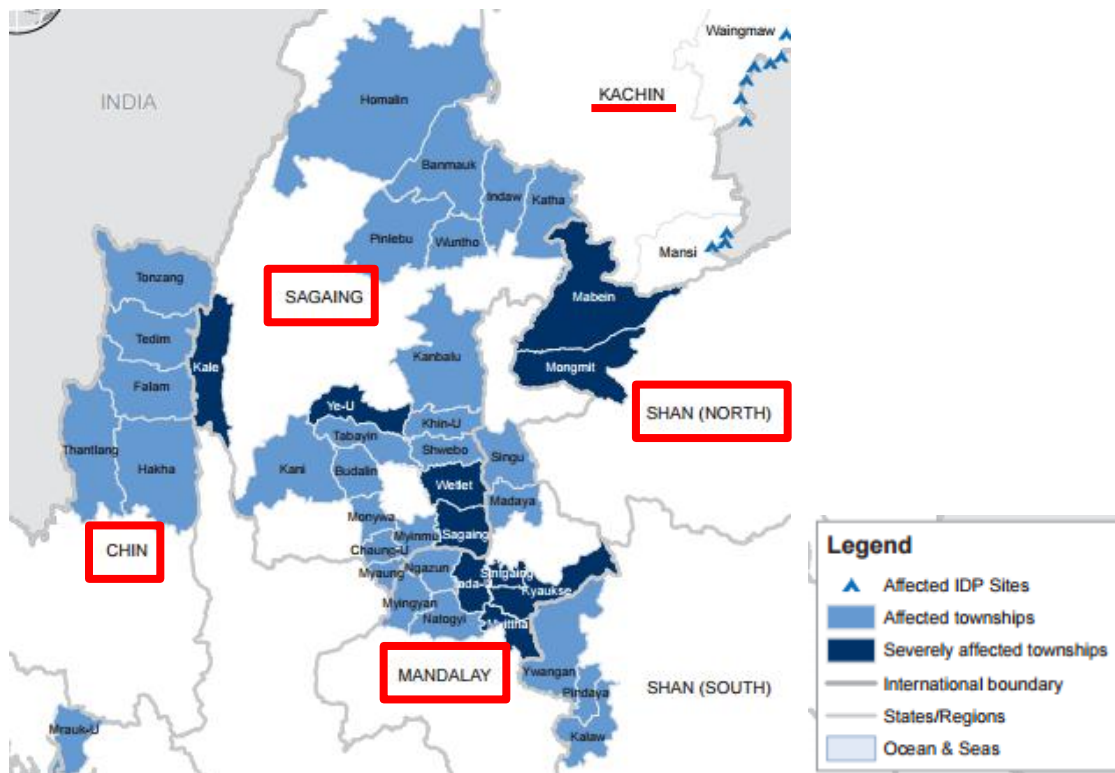
4 月 22 日、ミャンマーに強烈な大嵐が襲来し、巨大な雹、強風、大雨が発生しました。現時点で、死者 14 名、多数の家畜被害、パゴダ（仏教・ヒンズー教の多層の塔）の倒壊を含む数千棟の建物被害が生じていると報告されています。

この大嵐は、40℃を越える猛暑が数週間続いた後の 4 月 22 日（金）から 23 日（土）にかけて 5 つの州を襲いました。ミャンマーでは過去にこのような規模の大嵐は報告されていないとのことです。

影響を受けた地域

UNOCHA（United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs）によれば、Sagaing 管区、Mandalay 管区、Shan 州、Chin 州を中心に被害が発生しています。（図 1 参照）

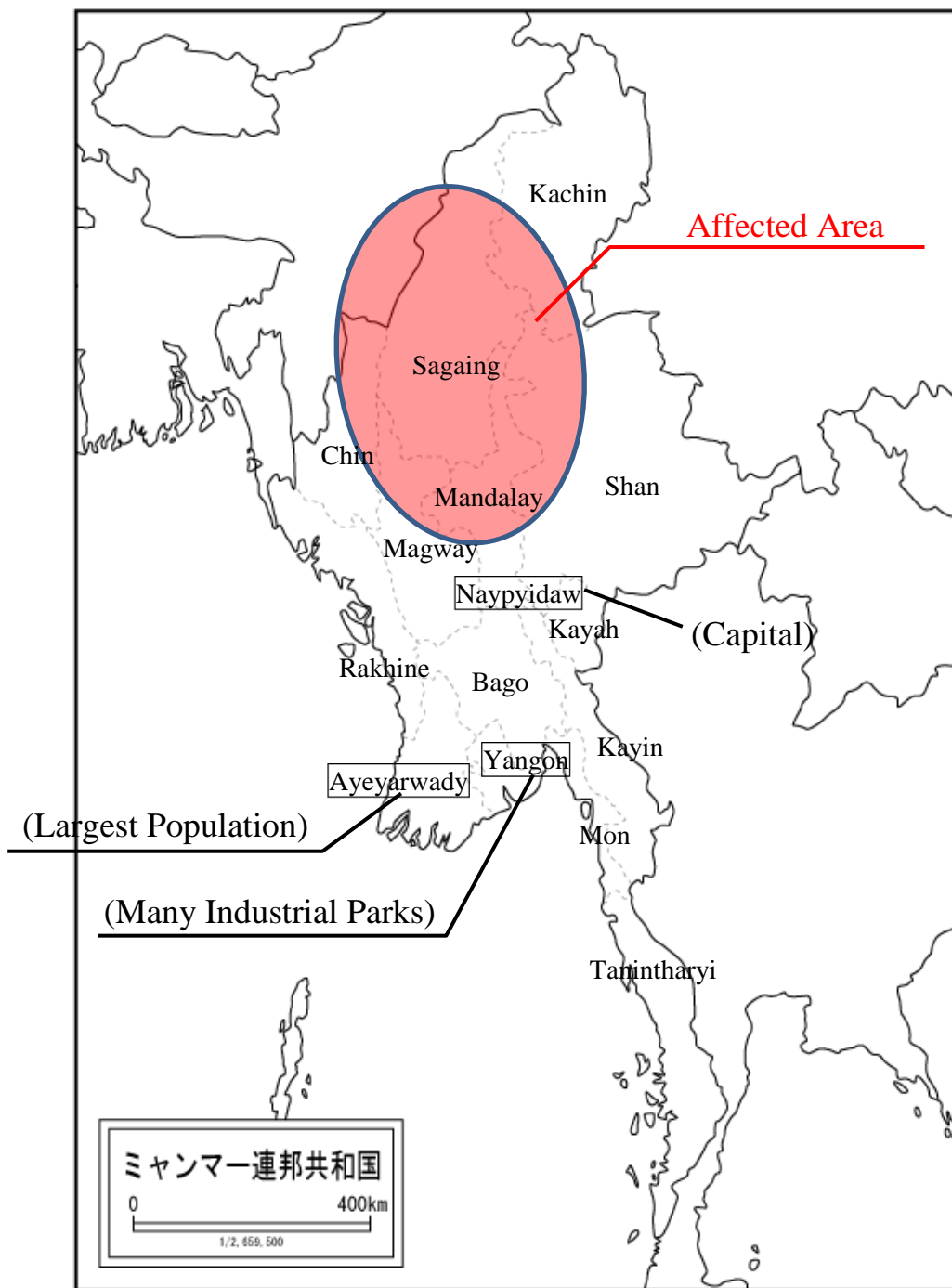
Mandalay 管区の中央部にある Yay Tha Yauk village では、洪水により 6 名が死亡したと報道されています。また、Kachin 州では、強風により難民のためのシェルターやキャンプが破壊されたとのことです。



【図 1】影響を受けた地域（出典：UNOCHA）

今回の大嵐による主な被害は、ミャンマーの中央部～北部に集中しています。

多くの工業団地が立地する Yangon 管区や、人口が最も多い Ayeyarwady 管区、首都 Naypyidaw はミャンマーの中で南寄りに位置しており、現時点で被害は確認されていません。



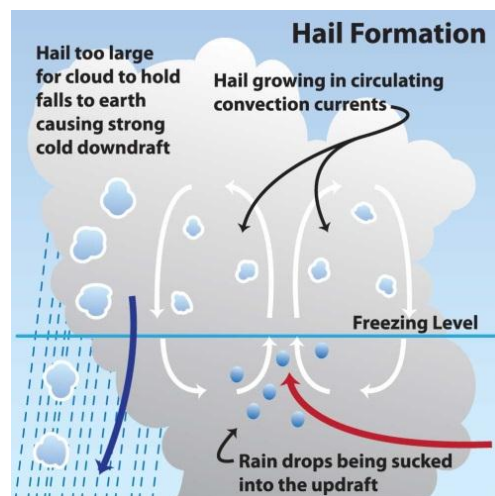
【図 2】 ミャンマー全体図

雹が発生する要因

雹は不安定な気象条件下で発生する発達した積乱雲の中で形成されます。氷の塊である雹は、多くの場合、激しい雷雨に伴って地上に到達します。

気温が高いと、熱せられた空気が上昇することによって水分が上空に運ばれ、氷結して落下します。夏季は特に気温が高いため、水分が上昇、氷結して大きな塊となり、上昇気流では持ちこたえられなくなって落下します。

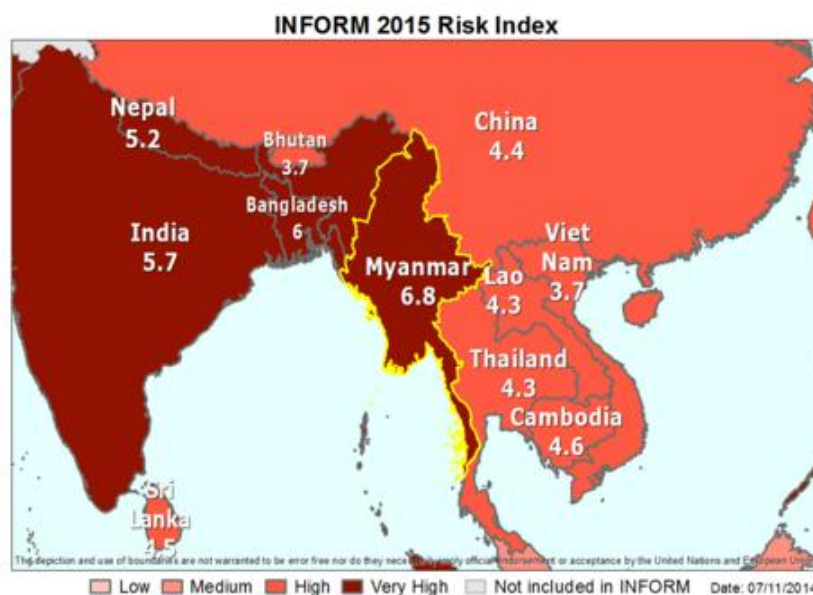
強い日光で地上が温められる夏季は、積乱雲が急速に発達して上昇気流と下降気流が生じ、雹が発生します。



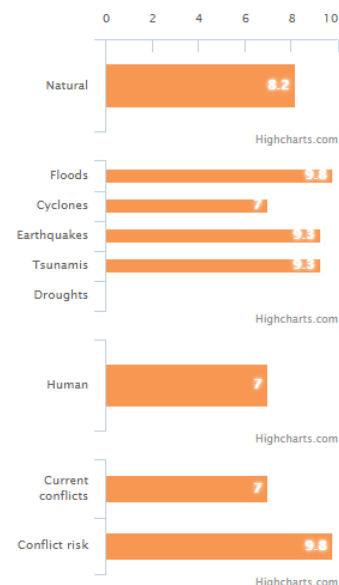
【図3】雹の形成（出典:NASA）

ミャンマーのリスク指標（2015）

European Commission の International Cooperation and Development によれば、ミャンマーはアジアの中で最もリスクが大きい国のひとつであり、リスク指標は「6.8（最大：10）」とされています。この指標は、災害に関する危険度、脆弱性、対応能力等を基に算出されており、紛争リスクも含め、ミャンマーのリスクは相対的に高いといえます。なお、ミャンマーの自然災害に関するリスク指標は「8.2」とされています。



Hazard



【図4】リスク指標（出典: Inter-Agency Standing Committee Task Team for Preparedness and Resilience and the European Commission European Commission）

参照

<http://www.unocha.org/aggregator/sources/70>

<http://elevenmyanmar.com/local/wind-and-hail-batters-sagaing>

<http://www.straitstimes.com/asia/se-asia/eight-killed-as-golf-ball-hailstones-storms-lash-myanmar>

<http://www.mandalay.climatemps.com/>

<http://reliefweb.int/report/myanmar/strong-gales-claim-lives-damage-buildings-mandalay-and-sagaing>

<http://www.preventionweb.net/countries/mmr/data/>

<http://www.inform-index.org/Countries/Country-profiles/iso3/MMR>

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.
175 Sathorn City Tower 9th Floor. South Sathorn Road.
Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand
<http://www.interriskthai.co.th/>
Direct: +66-(0)-2679-5276
Fax: +66-(0)-2679-5278